

区民の信頼と絆、そして助け合い

苅田町 本町区公民館【自治公民館】 区長 森田 喜富

1. 事業名

地域公民館活動

2. 事業の目的

公民館を拠点として住民間の信頼と親睦を図り、安心安全の地域の確立と継承を図る。

3. 事業の実施主体

本町区公民館

4. 連携・協力機関・団体等

苅田町、本町区、本町区自主防災会、
区育成会、区老友会、本町区立志会

5. 事業予算

6,540,000 円（令和元年度本町区予算）

6. 地域の概要

①苅田町について

苅田町は、北九州市と行橋市の間にある人口約3万7千人、面積約46.6km²の町で、昭和30年に1町2村が合併し、町制を確立しました。東に波穏やかな周防灘、西に平尾台に連なる山々など自然に囲まれています。

交通はJR日豊本線、国道10号線、東九州道、海上北九州空港があり、日産自動車九州工場、トヨタ自動車九州苅田工場、さらに三菱マテリアル、宇部興産、麻生セメント、日立金属、ユニチャーム苅田工場等大企業が進出操業の一方、御所山、石塚山の国指定史跡のほか、苅田神幸祭等多様な文化伝承とまさに陸海空の交通・工業、そして文化の香りとを併せ持つ魅力ある町です。

②本町区について

本町区は歴史的な主要交通道路の旧中津街道に面し、苅田町となる前の苅田村の一集落で、住民は半農半漁を主として生活をしていました。当時は隣接する西町区と同一集落で「下区」を形成していました。住居が増えて本町区と西町区に分かれた歴史があります。日本地図をつくったとされる伊能忠敬が苅田町を訪れたのは1810年江戸時代の中期中で、測量する者は総勢100名以上で下区内の林田庄屋宅と浄厳寺というお寺に分宿したとの記録が残っています。

苅田町が近代発展する一方、中津街道沿いの地区は昔の繁栄から少し疲労してきました。しかし、昔からの住民が多く、地域を守る相互扶助の思いは強く、安心安全と絆を大切にしたい自治会本町区は頑張っています。

本町行政区（区長）

|

本町区公民館（区長・副区長）

・自主防災会 ・育成会（子ども会）

・老友会 ・立志会（祭り保存会）

7. 公民館概要と管理並びに活動内容

①本町区公民館建設について

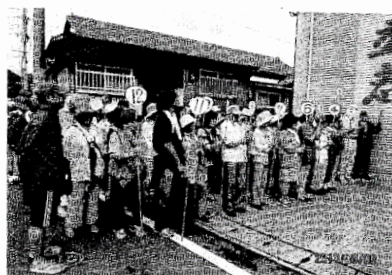
平成8年度に木造平屋建公民館の老朽化に伴い建設計画を行い、区民の承認を得て着工、平成9年6月竣工しました。鉄骨造2階建、述べ面積251㎡総工費31,435千円です。

②公民館の管理は、本町区民全員で行っています。公民館使用簿の徹底、月4回の清掃は区内隣組の輪番制として行っています。特にガス設備のチェック、電気廻り、水道廻りのチェックは区役員において実施しています。公民館使用後は必ず元の状態に戻すこととしており、防災放送無線設備・ガス・電気・水道は業者の定期点検をしています。

③年間行事内容

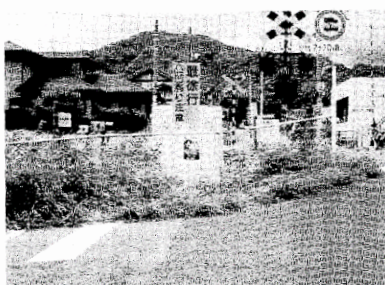
- ・役員・組長・老友会の集会 : 原則的には2ヶ月に1回
- ・自主防災会事業推進 : 年1～2回訓練(全区民対象)
- ・育成会と敬老ふれあい交流会: クリスマス会・もちつき大会・演芸会(年1回)
- ・神幸祭と文化継承 : 準備(8月初旬から)、神幸祭(10月第1日曜)
全区民挙げての取組、安全第一

※公民館は地区の表札・お城・住民の生活の主軸



心肺蘇生(AED)
A～オートメテッド
(自動化された)
E～エクスターナル
(体外式の)
D～デフィブリレーター
(除細動器)
※町内公共施設に設置している。

【区自主防災訓練】



【標高測量板設置】

JR日豊本線
長畑踏切
海拔8m

※本町区公民館
の玄関にも標示
海拔7m



【緊急避難場所設置】

公民館隣接地の
貴船神社境内

海拔8.5m

H25.12.26
設置完成

〔神幸祭の歴史と取組〕

神幸祭は、国家安全、五穀豊穰、無病息災を願う神事で、苅田町北部の産土神(うぶすながみ)の宇原神社の祭事で室町時代1442年の今から570年以前に始まったものです。お神様が行幸される時に住民(氏子)が山車(だし)を出してお神輿のお供をしました。現在は15地区より14基の山車が巡行し一連の祭りを神幸祭として、山車を「苅田山笠」と言います。山笠は3度姿を変えるもので全国的にも珍しいものです。神幸祭のクライマックスは10月第一日曜日です。

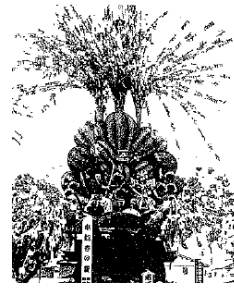


【灯山 ひやま】

赤幟
(魔除け) →
←提灯
(280個)



【幟山 のぼりやま】



【岩山 いわやま】

最頂部の3個の玉は神を呼ぶものとされている。



【集団山見せ】



【突き当て】

山笠右側が本町区の山笠で法被に立志の染め書きがある。

8. 事業成果と課題

- ・先に述べたように「公民館」は地区の「お城」と思っています。公民館を拠点として地域住民が集い、話し合い、生活を確認し合い、今後のことについて共有するコミュニケーションを図り維持していく拠点です。
- ・神幸祭など地域に残るお祭りは「住民よ、みんなで祭を盛り上げろ。住民よ、皆集まれ。健康を確認し合い、助け合ってゆきなさい。」と励ましてくれる掛声であると解釈しています。これからも私たちの文化、伝統の神幸祭を盛りあげていきます。
- ・近年異常気象等によって各地で地震、豪雨が発生しています。当区を含む苅田町でも防災について強く取り組んでいます。町内48区で34の自主防災会が設立されていますが、「防災は命を守る基本行動」を徹底することが自主防災の役目であり、特に「自助」「共助」「公助」が命を救うために不可欠です。そのための訓練が必要であり、公民館を利用して取り組んでいます。

発揮 ほつきせん 消防大精神 しょうぼうだいせいしん	勇敢沈着 ゆうかんちんちやく 亦機敏 またきびん	任侠一片 じんきやういつぺん 当挺身 まさになをいすべし	吾等使命 われらのしめい 在此際 このさいにあり	猛火洪水 もうかこうずい 何遼巡 なんぞしゆんじゆんせん	天裂地崩 てんさけつちゆん 不足駭 おどろくにたらず	消防精神 しょうぼうせいしん 松口月城 まぐちつきぎ
-------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

問合せ先

〒800-0392 苅田町大字富久町 1-19-1
苅田町教育委員会 生涯学習課
TEL:093-434-2044 FAX:093-434-5543